

シルバー やまがた

第131号 平成30年7月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター
正会員数 1,029名 賛助会員 42個人・70団体 (6月7日現在)



平成30年度総会

— 内容紹介 —

- | | | | |
|----|--------------------------|------|--------------------|
| P2 | 平成30年度定時総会あいさつ
就任あいさつ | P7 | 地域紹介「わが街自慢」 |
| P3 | 平成29年度 事業実績報告 | P8~9 | 会員のひろば |
| P4 | 平成30年度 課題と事業予算 | P10 | アンケート調査の結果報告 |
| P5 | 表彰状受賞者名
退任役員・新任役員紹介 | P11 | 就業会員を訪ねて
新入会員紹介 |
| P6 | 安全・適正就業強化月間
役員視察研修を実施 | P12 | 事務局だより |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



平成三十年度 定時総会あいさつ



理事長 長瀬 洋男

平成三十年度定時総会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。日頃より会員の皆様には、格別のご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

二十九年度は雇用環境が安定した状態が続いていることもあり、受託事業収益は前年度比2%の増加、また派遣事業実績も大きく増加しており、これも偏に会員の皆様のご尽力の賜物と改めて感謝申し上げます。

また、当センターの会員数は千八十六名と、二十八年度から二十六名の増となりましたが、全シ協では「第二次会員百万人達成計画」を策定し、取り組んでいくこととなりました。

国は「生涯現役社会」の実現に取り組んでおり、センターには生涯現役をけん引する役割も

求められています。

当センターでは二十九年度から三年間の予定で、「やまがた生涯現役促進地域連携事業」を、山形市や関係機関の皆様とともに実施しており、就業相談窓口の開設、産直市の運営、企業や高齢者向けのセミナー等を開催しております。

職域の拡大につきましては、子育て支援、介護支援など人手不足分野での人材確保にも取り組んでまいります。

また、残念ながら昨年度は五件の事故が発生しました。事故ゼロを目指し、改めて安全意識の徹底に取り組んでまいります。

結びに、会員の皆様のますますのご健勝をご祈念申し上げます。あいさつといたします。

就任あいさつ



常務理事兼事務局長 黒田 芳広

はじめまして、本年四月に山形市シルバー人材センターの事務局長として採用いただき、六月十三日の定時総会において、常務理事に選任いただきました黒田芳広と申します。

三月に市役所を定年退職し、まさにシルバー世代として、皆様の仲間入りをさせていただいたところですので、どうぞよろしく願っています。

山形市の平成二十九年十月の推計人口では、六十五歳以上の人口割合は二十八%になりました。全国的に若い労働力人口が減少するなか、国は高齢者の方々に、もっと社会を支える担い手として頑張っていたらと、**「生涯現役社会」**を謳っております。シ

ルバー人材センターには、業務の質的拡大と、量的拡大の両方を期待されているところです。

長い人生を有意義に過ごすには仕事、社会活動、趣味等、何らかの形で社会に参加し続けることが大切だと思います。

「自主・自立、共働・共助」を理念に、健康に留意しながら、市民に信頼され満足されるサービスの提供を通じて、社会参加し、活力ある地域づくりに取り組んでまいります。

会員の皆様方のご指導とご協力をいただきながら、山形市シルバー人材センターの更なる発展に、私も微力ですが、努めてまいりますので、重ねてよろしく願います。

平成29年度 事業実績報告

2年連続で会員数1,000人突破・派遣実績も大幅増

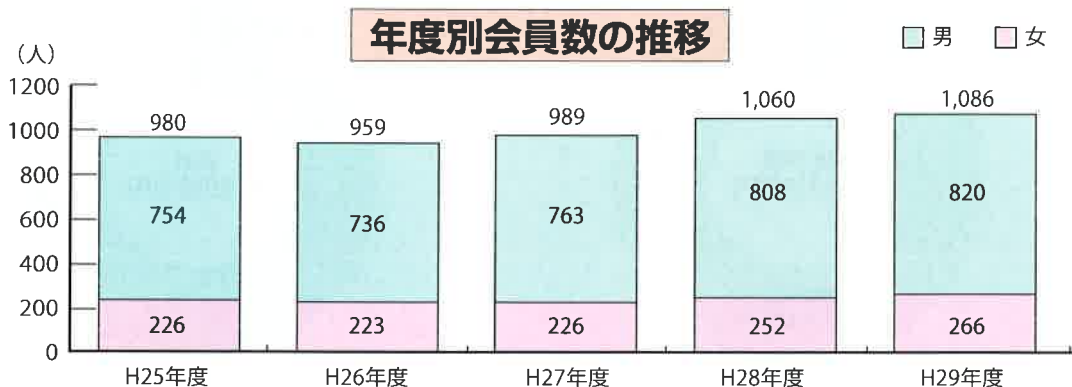
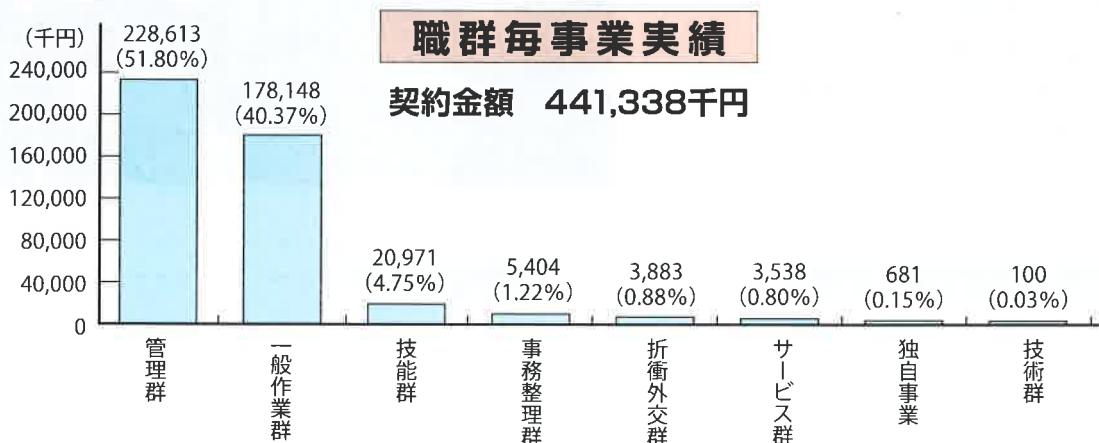
我が国の65歳以上の高齢者人口は3,000万人を超え、総人口に占める割合も25%を超えています。さらに平成26年度には団塊の世代すべてが65歳以上に到達しており、シルバー人材センター事業の役割は、地域社会活性化のための中核事業としてますます重要になっています。

当センターにおいては、平成29年度は「新中期事業計画」の中間年にあたり、新たな数値目標に基づく後期の取り組みがスタートしました。特に、安全就業推進委員会を中心として平成28年度より「3年間事故ゼロ」を目指す取り組みが始まりましたが、平成29年度は残念ながら5件の事故が発生してしまいました。再度、目標達成の為に全会員・全役職員が一丸となって安全意識の啓蒙に努めていく必要があります。

平成29年度事業実績

項目	29年度実績	28年度実績	比較
正会員数	1,086人	1,060人	26人
契約金額	441,338千円	432,620千円	8,728千円
就業延人数	133,718人	135,469人	△1,751人
受託件数	5,108件	5,095件	13件
派遣事業契約金額	84,850千円	50,738千円	34,112千円

平成29年度末の正会員数は、26人増の1,086人となりました。請負事業の契約金額は、新規就業開拓を積極的に展開したことにより、8,728千円増の4億4千133万円、受託件数は13件増の5,108件と前年度に引き続き増加しました。就業延人員は1,751人減の133,718人となっております。派遣事業については、大型スーパー等の新規受注の開拓が奏功したこと等により、契約金額は34,112千円増の8千485万円、就業延人数は9,472人増の21,234人と前年度の伸び率を大幅に上回る実績となりました。(詳しくは平成30年度定時総会議案書をご参照ください。)



平成30年度 課題と事業予算

会員増と就業機会の拡大、安全就業を重点課題に

山形市の高齢者人口は、平成29年度末に70,362人(高齢化率28.3%)、平成36年度末は72,388人(高齢化率30.1%)に達すると見込まれ、高齢化はますます進むことが予想されます。こうした中、シルバー人材センター事業の役割は、重要性を増しています。特に、意欲と能力に応じた就業機会を確保・提供し、社会を支える立場であり続ける高齢者を増やしていくことが急務となっております。

平成28年度に安全就業推進委員会を中心として『3年間事故ゼロ』の重点目標を掲げ、平成28年度は事故ゼロを達成しましたが、平成29年度は残念ながら5件の事故が発生してしまいました。平成30年度は再度「事故ゼロ運動」のスタートの年として位置づけ、全会員・全役職員が一丸となって安全意識の啓蒙に努めてまいります。

基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、公益社団法人として、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう次の8つの事項を重点事項に掲げ、事業の推進に取り組んでまいります。

(事業計画や予算等、詳しくは平成30年度定時総会議案書をご参照ください。)

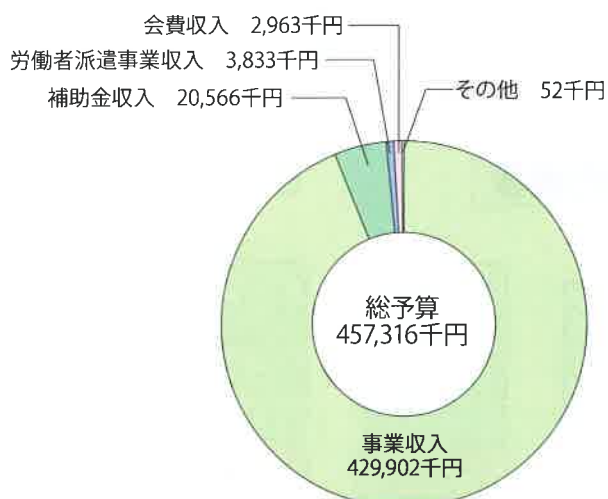
重点課題

1. 会員拡大と退会会員の歯止め
2. 受注作業の迅速化
3. 就業機会の拡大と受注件数の増加
4. 会員組織の充実と活性化
5. 現役世代支援事業への取り組み
6. 安全就業推進体制の強化
7. 公益社団法人としての機能強化
8. 経営の効率化と財源の確保

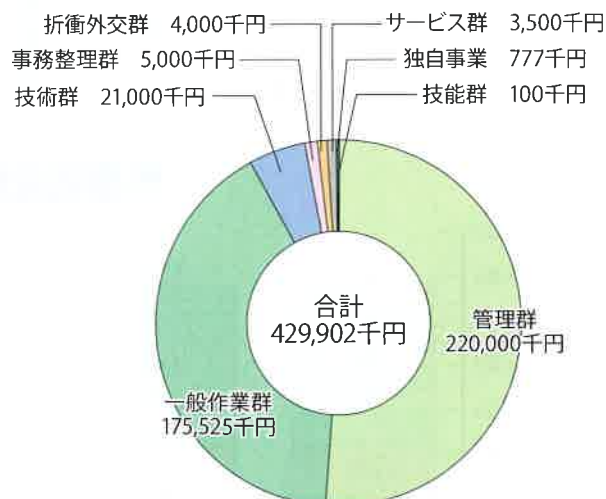


安全パトロール

平成30年度予算(収入総額)



事業収入内訳



表彰状受賞者名

(敬称略)

1. 正副班長及び組長表彰 (4名)

地区班 正副班長及び組長として、5年以上在任し、退任される方

地区名	氏名
第2地区	東海林 正 良
鈴川3地区	小笠原 重 義

地区名	氏名
南沼原地区	佐々木 守
//	岸 清 司

2. 会員表彰 (72名)

会員として、5年以上在籍し、積極的に就業に励み、その業績が顕著であり、正副班長の推薦を受けた70歳を超えた方

地区名	氏名
第1地区	齋 藤 孝 男
第4地区	渡 部 優
//	志 鎌 久 子
//	松 田 弘 安
//	和 田 功 次
//	志 田 正
//	三 浦 敬 一
//	相 沢 幸 子
//	後 藤 清
第6地区	山 崎 正 弘
//	富 樫 茂 子
//	小 原 雄
第7地区	長 岡 秀 雄
//	渋 江 栄 一
//	遠 藤 勝 廣
//	佐々木 晃 夫
//	村 山 朋 孝
//	星 野 信 彌
西地区	大久保 健
//	會 田 史 郎
//	伊 藤 光 夫
//	阿 部 一 男
//	吉 永 二 郎
第10地区	角 川 博 道

地区名	氏名
第10地区	藁 谷 幸 市
鈴川2地区	平 吹 誠 太 郎
//	玄 番 文 子
//	大 宮 和 美
千歳地区	矢 萩 芳 美
//	秋 葉 耕 一 郎
飯塚・樺沢地区	齋 藤 喜 美 子
//	佐 藤 道 義
滝山2地区	宮 崎 尚 之
出羽・明治地区	植 松 ユ キ
//	川 合 論
//	渡 貫 勝 敏
//	中 村 皓 司
//	漆 山 敏 男
//	結 城 正 弘
//	大 木 孝 勇
//	関 節 子
//	結 城 多 美 子
//	多 田 信 雄
//	長 谷 川 浩 二
//	伊 澤 準 治
//	尾 崎 秀 雄
//	石 原 一 夫
金井地区	鈴 木 賢 治

地区名	氏名
金井地区	清 野 正 三
//	小 鷹 敏 子
//	會 田 文 雄
//	小 椋 芳 昭
//	高 橋 ヨシ子
//	山 下 秋 吉
//	法 身 繁 三
山寺・高瀬地区	大 場 昭 美
蔵王地区	佐 藤 幸 子
//	鈴 木 國 榮
//	堀 修 二
//	高 橋 晴 子
南山形・本沢地区	鈴 木 正 孝
//	逢 坂 鉄 雄
//	芳 賀 清
//	吉 田 しげ子
//	佐 藤 久 子
//	奥 山 正 博
南沼原地区	高 橋 マサノ
//	船 山 三 男
//	佐 藤 幸 博
//	穴 戸 良 一
//	須 貝 國 男
西部地区	後 藤 良 三

退任役員・新任役員紹介

(敬称略)

退任理事	鞠 子 克 己 栗 原 浩 一 笹 原 信 之 大 瀧 守
------	--

新任理事	小 野 徹 鞠 子 克 己 黒 田 芳 広
------	-----------------------------

安全・適正就業強化月間

安全就業推進委員会 委員長 樋口健一

三十年代スローガン
「事故防止 急ぐな あせるな 気を抜くな」

今年度も「三年間事故ゼロ」を目指し事故防止活動を展開します。二十八年度は会員の安全に対しての意識向上もあり「事故ゼロ」を達成できました。しかし、残念ながら二十九年度は人身事故・物損事故合わせて五件事故が発生しています。発生要因はちよつとした気のゆるみで発生した事故でした。常に「見えない危険」が潜んでいることを会員一人一人が自覚しゆとりをもって「安全第一」を最優先することだと考えます。

昨年度、県内のSCで残念な死亡事故が発生したこともあり、安全就業のABCを守る活動を展開して頂きたいと考えています。AⅡ「当たり前前」の「ことを」 BⅡ「馬鹿にしないで」 CⅡ「ちゃんとする」の合言葉で安全な就業に繋がっていただきたいと思います。

引き続き今年度も各地区班及び職群班と連携協力し、独自の安全推進活動を実施し、「事故ゼロ」を目指し事故防止活動に取り組んでまいります。さて、七月は「全国安全・適正就

業強化月間」として一日から三十一日までの間、全シ協・県連合会・各地区SCがそれぞれ連携し強化月間中活動してまいります。

【取り組み事項】

- 一、安全就業推進委員会の開催
- 二、事故ゼロを目指した活動の推進
- ・定期パトロール・不定期パトロールの実施
- ・安全保護具の完全着用徹底（安全帽・安全帯等の装着）
- ・機械器具・安全保護具の点検整備
- ・緊急連絡カードの携帯徹底
- 三、安全意識の高揚策の充実
- ・安全標語の募集と優秀作品の表彰
- ・安全に対する体験発表会の開催
- ・「安全就業推進委員会だより」の発行で事故防止の喚起
- ・事故発生時の要因調査を行い関係職班リーダーに注意喚起
- 四、会員の健康管理意識高揚として
- 総合健診の受診を推奨
- 五、就業途上における交通事故防止
- ・交通安全講習会及び交通安全対策の徹底
- ・徒歩・自動車・自転車・バイクでの事故防止の徹底

役員視察研修を実施



富谷市SC「ほっと育く」

他市シルバー人材センターの事業を参考として、当シルバー人材センターの事業運営に役立てていただくため、理事の視察研修を実施しております。平成三十年三月十三日から十四日の二日間で、宮城県の角田市シルバー人材センターと富谷市シルバー人材センターへ訪問し、役員視察研修を行って参りました。

角田市では、一般市民や高齢者が気軽に立ち寄れる街なか交流サロン「ひだまり」を開設し、会員OBを始

め地域の人達との交流の場を作り、曜日ごとに様々な活動をしておりました。会員が管理をしている事もあり、シルバーの宣伝も口コミで広がり、入会する方も増えているとのことでした。

また、富谷市は新興住宅地とあって、子育て世代が急増している状況から、子供の一時預かり施設を開所し、子育て支援事業を行っています。時にはスタツフ会員による育児相談等も行っており、お母さん方からも喜ばれ、会員の方達も社会の役に立っている事に喜びを感じているとお話しました。

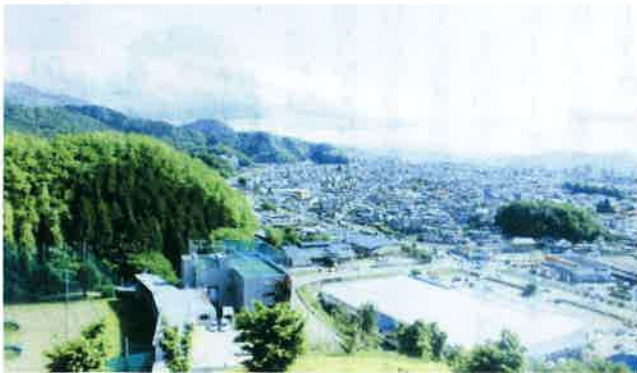
今回視察したセンターは、どちらも地域の多様なニーズに応え、実情に合ったサービスを提供を行っており、当センターにおいても事業展開に大変参考になる視察研修でありました。

鈴川二地区

鈴木 賢司

鈴川二地区は古来より山家地区と言われており、四世紀ころから七世紀にかけては各地に勢力を分布して近年古墳群が発見されております。

又山家氏の居城として地元スーパーヤマザワ店の裏山に小高い野伏山があり、鈴川郷土研究会の方々によって整備され容易く登り見学すること



ができるようになりました。

標高二三四メートルの頂きには、城址があり又、そこから見下ろす眺めは一段と素晴らしいものです。

確かにそこには若らしき石垣が残っており、当時支配しておった山家氏は蝦夷出身の武士だったようです。

どうぞこちらにおいての際は一度見学してみても如何でしょうか。

地域紹介

わが街自慢



出羽・明治地区

結城 多美子

出羽・明治地区は市の最北部に位置し、集落は旧国道十三号線沿いに集中しており、立谷川をはさんで天童市と接しております。

合併後、刑務所の移転や、住宅団地の新設で急速に人口も増え、都市計画道路や高速道路も整備されました。

JR漆山駅がありますが、車社会になり、利用者も少なく、主に通学に利用されています。又定期バスは割と本数も多く、中心部にはスーパーマーケット、銀行、郵便局、保育園、コミュニティセンターがあり、県立中央病院も近く生活上の利便施設は充実しています。

西に月山・朝日連峰が遠望され、東に蔵王山と四季を通して楽しめます。又重要文化財である千手観音には参詣者も多く、大型バスでにぎわっています。

住んで半世紀余り、自然災害も少なく、住む人たちが温和で、これからも住みよい街としてあり続けることを願っています。



私のカーライフ



滝山一地区
瀬野 清志

若い時から車が好きで、今まで何台か乗り換えて現在の車で八台目になります。中でも印象に残っている事があります。

その中で、二台目の車は日産ブルーバードクーペを購入した時は、人と違う車にしたいと、シートやミッションを改造し自己満足しながら遊んでいました。又、子供達が小さい時は、皆で移動出来る様に、当時は少なかったワゴン車を購入して五月の連休には、毎

年デイズニートランドに二泊三日で遊びに行きました。その時は、もちろん全員車中泊です。

何回目かの時は車の電気系統が調子悪くなり途中、何回も充電しながら帰宅した事も有りました。

仕事の都合で、北海道に転勤になった時は土日を利用して各地に出かけ、当時北海道で開催していた道の駅スタンプラリーを一年八ヶ月駆けて全駅完全制覇した事も思い出に残っています。

最近では、伊勢神宮参拝と出雲大社参拝に四泊五日で出かけました。これからも、免許証を取得した気持ちを忘れず返納するまで、安全運転を心掛け各地をドライブしようと思っています。

サプリメントとの出会い



飯塚・樫沢地区
遠藤 繁治

普通に過ごして来たから特別な話がないな一と思案中、浮かんで来たことが。今から十四年前の秋

の事です。会社にいた時に目まいがして、急に景色が左に左に廻り心臓はどきどき、寒いのに体が熱くなり、会社で飼っている犬が側に来てクンクンと心配しているような泣き声です。暫く休んでいたら、落ち着いたので自宅に帰り家内には、夕飯いらぬ調子悪いから早めに寝ると言ったらお父さん顔が青い色でおかしいよ、病院に行こうと言われ近くの某病院に行き疲れが溜まったんだな一と先生から話がありました。でもなかなかまだ目まいがするんだよと先生に話をした所、軽い脳梗塞ですと言われ入院しました。退院時に今後の食事療法を話され、タバコ・塩気・辛い物・揚げ物など、控え目にとの事、そんな時家内に血圧を穏やかにするドリンクが有るから飲んでと言われ飲み始めました。

色んなサプリメントの効能を見て試そうと思いましたがなかなか手が出ません。最初に家内に進められたドリンクも半年位飲んでいたらところ血圧も安定しているし、もしかしてサプリメントって悪くないかもと思ひ、あれこれ試

セカンドライフ



第六地区
河田 章

供品を飲み始めたところですが、暫く(約一年位)飲まないでいると友人が(脳梗塞)今サプリ飲んでるんだが最近落ち着いていて話を聞き俺も始めるかと思ひ飲み始めたら半年位からかな一、効き目がでてきた様です。あれ以来大きな健康障害もなく暮らしています。家内からの勧めで始めたサプリメントと出会って約十一年になりました。

定年後については、サラリーマン共通の悩みではないかと思ひます。

私は、元気なうちは週二・三日でも働き、「メリハリのある生活」ができればと考えています。

趣味と実益を兼ねて、「野菜づくり」を始めましたが、農業の養成講座に参加したのが縁で、果樹農家の手伝いを五年間することに





多員の

健康・趣味

なり、農業の厳しさ喜びを知りました。

シルバーには、「庭木の剪定」の講習会に参加したことで、こんな仕事ができばとの思いから二年前に入会しました。大学構内の環境整備の仕事をしています。「草刈り」と冬期間の「雪かき」が主な作業です。炎天下での「草刈り」は汗ビッシヨリで、帰ってからビールが楽しみです。積雪の季節は、学生が登校する前の通路の確保が朝一番の仕事となります。

樹木が多く、秋には大量の落葉の片付けがありますが、季節を通しての木々の変化に自然の美しさを感じます。勤務は交代制で平均週三日ぐらいですが、屋外作業で

草刈機なども扱い、チームワークと安全第一の仕事となります。楽しみを持って働くことで、「セカンドライフ」も有意義に過ごすことができると思っています。

楽しい第二の人生



東沢地区
板垣 源太郎

私は、昨年三月末で五十二年間勤めた会社を退職し、「今度は第二の人生を送るぞ」との思いを胸に過ごしていました。退職後の生活には、多少の不安もありました。その様な中で、シルバー人材センターの話を伺い早速申込みました。数日後に連絡を受けました。これまで、一つの仕事しかした事がなく不安もありましたが、昨年十月より大学での清掃業務に従事しています。

大学の広い敷地での仕事はとても大変ですが、諸先輩方のご指導もあり不安無く仕事を行う事ができています。教室の清掃だけでは

なく、草刈りや除雪といった作業もあります。仕事を通して、四季も感じる事ができ歩く距離や体を動かす事も多く良い運動にもなり、晩酌もさらに美味しく、夜も熟睡する事ができます。何を言っても、仲間と楽しく仕事ができる事、会員になることで、ゴルフ愛好会にも入会する事ができました。これまで趣味でやっていたゴルフも継続して楽しむ事ができ、第二の人生として、とても満足しております。

文化祭へ コマづくり



南山形・本沢地区
高橋 正博

平成二十九年十月二十九日、勤務の都合で半日だけだったが、シルバー人材センター互助会の文化祭で、机を一つ用意していただく。

シルバーにお世話になって七年度、事務室から平成二十九年度の仕事が終わりとの連絡があったの

で、お礼のつもりで出店いたしました。

左のような案内板を出しましたが、天候が悪く、来客が少なく役員

の知り合いの方々が、お客になつていただきました。

二月末で付属中学校就業を次の人に引き継ぎ、退会届を三月の七十五歳の誕生日にと思っていたところ、四月から別の学校へと連絡がありました。

作ってみませんか
孫さんへのお土産にどうぞ！
紙テープで作る
こまです。
無料ですよ



紙テープの切る長さ
紙テープ内側へ糊付け
紙テープ全部水平に重ねて巻く
こまの形を調整する。
速乾性の木工ボンドを全体に、
ていねいに塗り、乾燥して固める。

アンケート調査結果報告

広報部会

会員の皆様の会報「シルバーやまがた」に対する意向や要望を把握し、よりわかりやすく、読みやすい、そしてより親しまれる会報作りに役立てるため、アンケート調査を実施しました。

いただいた回答とご意見・ご要望については、今後の会報の編集や紙面に反映させてまいりたいと考えておりますので、より一層ご愛読くださいますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

調査期間・回答数・回収率

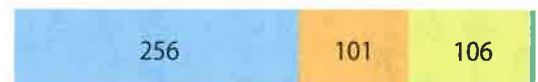
1. 期 間 平成30年4月1日～4月16日
2. 対 象 全会員(1,086人)
3. 回答数 451人(男性:341 女性:110)
4. 回収率 41.5%

※設問に複数解答有り

設問	内容	男性	女性	計	%
1. 読んでいますか?	①全ページ	204	52	256	54%
	②興味あるページ	77	24	101	21%
	③さらっと見る	73	33	106	23%
	④ほとんど読まない	4	3	7	1%

1. 読んでいますか?

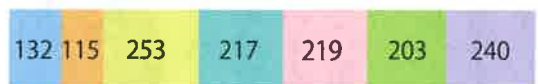
- ①全ページ
- ②興味あるページ
- ③さらっと見る
- ④ほとんど読まない



設問	内容	男性	女性	計	%
2. 興味ある記事	①定時総会・専門部会等	104	28	132	10%
	②新旧役員などの人事	90	25	115	8%
	③会員のひろば	190	63	253	18%
	④わが街の自慢	161	56	217	16%
	⑤就業会員を訪ねて	167	52	219	16%
	⑥人あり技あり心あり	141	62	203	15%
	⑦事務局だより	181	59	240	17%

2. 興味ある記事

- ①定時総会・専門部会等
- ②新旧役員などの人事
- ③会員のひろば
- ④わが街の自慢
- ⑤就業会員を訪ねて
- ⑥人あり技あり心あり
- ⑦事務局だより



設問	内容	男性	女性	計	%
3. 会員のひろばへの投稿依頼	①受けても良い	64	11	75	17%
	②受けたくない	252	88	340	75%
	未回答	25	11	36	8%

3. 会員のひろばへの投稿依頼があった場合

- ①受けても良い
- ②受けたくない
- 未回答



設問	内容	男性	女性	計	%
4. 今後の要望記事	①運営状況	100	20	120	24%
	②就業状況	214	57	271	53%
	③教養	62	31	93	18%
	④その他	17	6	23	5%

4. 今後の要望記事

- ①運営状況
- ②就業状況
- ③教養
- ④その他



◆◆就業会員を訪ねて◆◆

中村 勝 株式会社カナモト 山形営業所

立谷川工業団地にある株式会社カナモト山形営業所を訪問しました。

武田工場長代理に会員の就業状況を伺いました。

会員の就業数は二名、勤務時間は午前九時から午後五時。体制は①

月・水・金、②火・木・土の二通り勤務で祭日・日曜は休日です。

仕事はレンタル後、会社に返却された重機や機材の洗浄作業です。

就業されている中村さんに業務内容を説明してもらいました。車輛は足回りの泥や埃を手洗や洗浄機使用し、頑固な油污やコンクリート汚等の状況に応じて特殊洗剤を使用して除去します。特に運転席は丁寧に行います。高所での作業は脚立に上り行い、落下防止のため安全第一を考え慎重に行います。レンタルハウスは照明器具

を取外し、天井・壁・窓・床等を隅々まで清掃します。又、空き時間は敷地内の除草・清掃等作業を行う。

お客様から「綺麗だね」と喜んでもらうことがモットーであり、この仕事の励みになります。

工場内は機材毎に整理整頓されていますが、環境は夏暑く、冬寒く厳しいです。「お客様第一主義をこころに刻み」常日頃の体調管理に十分留意されて仕事に従事されている成果と思います。

(取材・広報部)



洗浄作業

新入会員紹介

第二地区	太田 茂	滝山二地区	北村 強志
佐藤 則明		小野寺正珠	
大沼 繁		高山 文男	
和田 礼子		近藤 光弥	
長橋ノリ子		渡辺 俊彦	
伊藤 康秀		伊藤 弘	
逸見 政男		山口 和男	
柴田 新一		伊藤 優	
武田いく子		渡辺 喜則	
海和 典子		益子 秀雄	
梅津 長次		石山 義治	
伊東 悠人		半田 栄治	
延本 啓二		寒河江幸次	
三原 隆		二戸 昭三	
後藤 初子		松田 憲夫	
石澤 彰		佐藤 桂子	
齋藤 徹		横山 俊昭	
森永 洋子		児玉タミ子	
今田 光彦		鈴木 寛	
若尾 鉄雄		児玉 義守	
倉金 憲司		高村ハル工	
森谷 文敏		半田 幸雄	
石井 晶子		中津川麗子	
丸子 晶子		齋藤日出子	
神保 正美		武田 則子	
新関 喜良		高橋 弘子	
齊藤 一子		岡澤 彰	
岡崎 正美		清野さだ子	
新林彦一郎			
東沢地区		西部地区	
飯塚・榎沢地区		南沼原地区	
千歳地区		南山形・本沢地区	
鈴川三地区			
鈴川一地区			
第十地区			
西地区		蔵王地区	
第八地区		山寺・高瀬地区	
第七地区		大郷地区	
第六地区		金井地区	
第五地区		出羽・明治地区	

事務局だより

山形市シルバー人材センター
山形市双葉町一丁目二番三号
電話(023)647-6647

URL: <http://www.sjcre.jp/yamagata/>
E-mail: yamagata@sjcre.jp

新事務局職員紹介



嘱託職員
本夢 成美



嘱託職員
渡辺 初美

行事イベント案内

安全標語表彰・安全講習会

日時：平成三十年八月十日(金)
午前十時より
場所：山形テルサ三階
アプローズ
安全意識の向上を図るため、安全標語を募集し、優秀作品を表彰します。
また、当日は安全就業に関する講演会を予定しています。

お知らせとお願い

配分金支払日

- 七月二十日(金)
- 八月二十日(月)
- 九月二十日(木)

入会説明会(午後二時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

- 七月五日(木) 十二日(木) 十九日(木)
 - 八月二日(木) 九日(木) 二十三日(木)
 - 九月六日(木) 十三日(木) 二十日(木)
- #### 就業相談日(午後一時三十分)
- (就業に関しての相談です)
- 七月十二日(木)
 - 八月九日(木)
 - 九月十三日(木)

年度会費は 傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいた年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

会員傷害保険料(一人あたり)

一千百九十円

総会議案書・会報印刷費等

九百円(うち、三百十円を充当)

事務局紹介

常務理事兼事務局長 黒田 芳広

業務課長 菅野 千春

業務係

業務担当主任 平田 悦一

主事 原田 弘之

就業支援コーディネーター

吉田 和志

嘱託職員 本夢 成美

総務係

係長(兼務) 菅野 千春

主任 齋藤 康子

嘱託職員 渡辺 初美

あとかぎ

前号でお願いいたしましたアンケート調査に多くの会員の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。
会員の皆様の御意見、御要望にお答えべくスタッフ一同、より良い会報作りにながらぶる所存です。
「会員のひろば」への投稿以来の件で、なんと、七十五名の方が「受けてもよい」とうれしいご返事。思わず、「うれしくお引き受け下さるんだ！」と目頭があつくなる思いでした。
実のところ、原稿依頼の件では、スタッフ一同苦慮しておりますが、この度のアンケートの結果に「光」を見た感じでは。
「人生、百歳時代」と言われる今日、あの時のこと、今のこと、これからのこと、したためてみませんか？自分の思いが活字になり、後々に目を通した時、その当時に返りざき、思い出のページにふれるのもよいものです。皆様のご参加、お待ちしております。